

we design your home and life style. impression for life, to you.



## ママのお城で、家族の集まる場所だから。 こだわりたいキッチン！

マイホームのこだわりは、家族の数だけあります。こだわるポイントはさまざまですが、キッチン  
は上位にランクインするのではないのでしょうか。使いやすさはもちろんだけど、デザインだって気  
になるところ。いまだきのキッチン事情をちょっとのぞいてみましょう。

### 独立したキッチンから オープンタイプへ。

少し前までの日本の台所は、一つの部屋として独立したクローズドタイプと呼ばれるものが主流でした。いまの人気はオープンタイプ。キッチンとダイニング、リビングが一体化しているものです。料理をしながら、家族を見守り、会話を楽しめるといった良さがあります。



### 種類ごとの特徴を知って、 ライフスタイルに合わせて選ぶ。

オープンタイプのキッチンにも、いろいろな種類があります。おしゃれ度が高い、**アイランドキッチン**。壁に囲まれていないため、大人数で料理をする機会が多い人におすすめです。対面式のなかでも人気が高い、**ペニンシュラキッチン**。一部が壁に面しているので、アイランドキッチンよりも設置しやすく、実用的でもあります。ダイニングやリビングを見ながら料理ができるため、子育て中のママに喜ばれています。**セパレートキッチン**は、コンロとシンクに分かれたスタイル。作業スペースを広く取れるのが魅力です。最もベーシックなのは、**壁付けキッチン**。作業するときは壁に向かうので、背中に家族を感じながら、料理に集中できます。

## キッチンこだわりコレクション

### どの家にもマッチする I型キッチン

I型キッチンとは、シンクやコンロ、作業スペースが横一列に配置したキッチンのこと。最も一般的なレイアウトです。シンプルで場所をとらないため、間取りを選びません。(Kさま邸)



### コンロとシンクに分かれた セパレートキッチン

このキッチンのポイントは、色。基調の白のなかで、アクセントになっているキャビネットの薄いブルーは、既製品にはありません。オーダーメイドでつくりました。(Oさま邸)



### 既製品は一つもない、 オーダーメイドキッチン

このキッチンは、シンクに合わせたオリジナル。木製の天板、収納棚の取っ手、レンジフード…全て職人がつくったもの。壁に取り付けたアンティークの窓がアクセントです。(Sさま邸)



## Monica's COOKING TIME



日本のキッチンは、ちょっと小さすぎます。  
でも、これは広さも高さもちょうどいい！

インターデコハウスは、キッチンスペースもカウンターの高さも少し大きめ。モニカさんも作業がしやすいそうです。この日のメニューは2種。ブロッコリー&ベーコンのショートパスタ(マスカルポーネ味)と、鶏肉とじゃがいものトマトソース和え。「おしゃべりしながらの料理は楽しい」と、モニカさん。その味はやさしく、おいしかったです。

### ■モニカ ダンジェラントニオさん

2009年より函館市在住。アルゼンチンタンゴのダンサー、ダンス教室を主宰。出身地は、イタリア北部のオーストリアに近い町。お母さんの料理で一番好きなものは「ボルチーニのリゾット」で、好きな日本料理は、天ぷらなどの揚げもの。

It looks yummy!





my sweet house

owner's interview

vol.4

owner  
Mさま

# プロと一緒に考えた、 “欲しい”が実現した家。

## なにも決めずに見学、 建てることを決める。

ご夫婦が家づくりを考えだすきっかけに、愛犬のことがありました。アパート住まいだったため、家の中でもっとのびのびさせてあげたいと思っていたのです。心に決めた家やメーカーはないまま、はじめて訪れたオープンハウスが、偶然にもインターデコハウス。その場で、この家にしようと思ったそうです。「対応してくれた担当者の押しつけがましくないところがよくて、いろいろなメーカーのモデルハウスを見学してみてくださいね、と言われたくらいです」と、ご主人。おおらかなが誠実な対応に、信頼できると感じたようです。

## 素人だから選べない。 プロの助言が活きた。

ご夫婦が口をそろえて「よかった!」と言うのは、プロのアドバイスです。建築については素人で、はじめて建てる家。当然、知らないことばかり。ご主人が「床材とか…さっぱりわからない。でも、サンプルを見せて説明してくれたので、選びました」と話せば、奥さまも「アイアンのカーテンレールも存在すら知らなかったです。照明は全て、場所に合わせてセレクトしていただきました」と明かします。ご夫婦が感動したのはダイニング。アドバイスが実を結び、ふたりの希望が叶ったのだといいます。



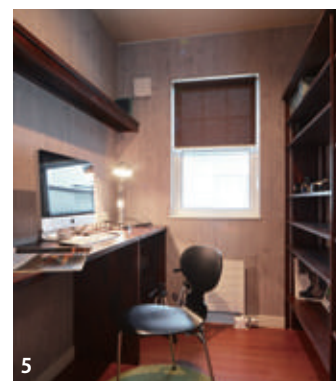
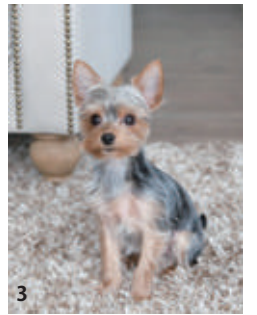
## こだわりで完成したガレージ、 これから楽しみなバルコニー。

家を建てると思ったときから、ガレージとバルコニーは欲しいと考えていたそうです。家の横につくったガレージは、玄関わきに設けたシューズクローゼットから出入りできます。一番のこだわりはシャッター。アメリカから取り寄せました。ガレージの屋上にバルコニーがあります。驚くほど広い! 遊びに来た友人たちとバーベキューをするなど、夢も大きく広がります。「去年の11月中旬に完成したので、雪が積もったところしか見ていないのですが…」と、ご夫婦は笑います。いつも以上に待ち遠しい、今年の春です。

## ワガママを言った。 お気に入りになった。

感謝の言葉とともに、担当者に無理を言ったときのことを話してくれました。最初の図面では、リビングは完成したものより小さく、ゲストルームはありませんでした。でも、もう少し広いリビングとゲストルームが欲しくなって、相談しました。「ゲストルームの場所を新たに考えなければなりませんし、リビングを広くすると、2階の間取りも変わってしまう。それでも、できないとは言わずに、快く対応してくれました」と、奥さま。できあがったリビングは、明るく広々として、ふたりのお気に入りの場所になりました。

SWEET HOUSE DATA	
◇ 延床面積	: 134.41㎡ (40.65坪)
◇ 構造	: 木造(2×4工法)2階建
◇ 間取り	: 5LDK
◇ 家族構成	: 2人家族+1匹



今回のsweet houseは <インターデコハウス>

## INTER DÉCO HAUS

このブランドのコンセプトは、「くらし、わたし、らしく。」な家づくり。好きなものに囲まれて暮らせば毎日がしあわせと考え、好きを基準に空間をつくっていきます。かわいらしくデコラティブな家を理想としている方に好まれています。



1.ダイニングは、リビングとの仕切りがなく、広々としている  
2.キッチンのタイルは、奥さまが大好きなピンク  
3.愛犬エルちゃん  
4.収納力のあるシューズクローゼット  
5.色と壁紙のデザインにこだわった、ご主人の書斎(オープンハウス時のもの)  
6.アイアンの手すり、アクセントづかいのタイルもお気に入り  
7.ガレージとバルコニー



ハコダテノ建テモノ

hakodate architecture spot

## 初代館長の経験と信念で 耐火を貫き、大火を免れる。

美しい建物、めずらしい建物があれば目を奪われ、構造が気になり、資材をたしかめたくなる。それが、建築家。そんな建築家が、函館の建物をマニアックに調査！今回は、「旧市立函館図書館」。函館市役所の円山牧子さんにお話を聞きました。



岡田健蔵が集めた資料は現在の図書館に引き継がれています。

### 耐震や耐火について聞かせてください。

旧市立函館図書館が建てられた当時、耐震基準や耐火建築物という概念はまだありませんでした。ただ、耐火は最も重視されました。初代館長であり、図書館の建設に尽力した岡田健蔵の信念によるものです。西洋ろくそく商だった彼は、自宅に図書室をつくり、本や雑誌、骨董品などを無料で一般公開していました。しかし、明治40年の大火で、コレクションの大半を失ってしまいます。このとき、耐火の重要性を強く認識したようです。のちに、ここで耐火建築の展示会を開くほど。昭和9年の大火を免れたのも、耐火を徹底した結果ですね。

### 設計は誰でしょうか？

書庫の設計は辰野葛西事務所、東京駅を設計した辰野金吾の開いた建築設計事務所が担当したようです。本館の設計者は小南武一(こみなみ・ぶいち)。彼は、大正時代に続いた大火のあと、当時の市長に招聘された建築士の一人でした。鉄筋コンクリート建造物の経験が買われたようです。函館市の職員として、この本館のほか、函館市公民館や弥生小学校など、多くの建物の設計を担当しました。いまでも市内には、彼が手がけた建築物が数多く残っています。

### 旧市立函館図書館

岡田健蔵の発案、尽力により、大正5(1916)年に書庫が完成。昭和2(1927)年に本館が竣工し、翌年、図書館として開館。1963年に本館の開架スペースを増築。2005年に現在の中央図書館が開館するまで、函館市民の知識や情報に関するニーズを満たしてきた。 ■アクセス/市電・青柳町下車、徒歩5分



1. 本館は、玄関ポーチの円柱、その下に見える半円アーチの出入口、正面上部に施された装飾など、外観も見どころが多い  
2. アーチの天井が美しい、開架式の書庫。現在は書籍や資料の保存庫として使用されている 3. 屋根裏書庫。増設された場所が屋上のため、雨水を流すための傾斜がそのまま残り、床は緩やかに歪んでいる 4&5. 天井など細部にまで装飾が見られ、玄関では、函館らしい図柄のステンドグラスが迎えてくれる 6. 本館の裏に建つ書庫の内部。鉄筋コンクリート建築の幕開けの時期に建てられたもの

## INTERIOR+

ビースの家をビースらしくしているのは、インテリア。今回は「アンティーク」ショップマネージャー 川向(かわむかい)が惚れ込んでいるアイテムをご紹介します。お気に入り一つプラスして、暮らしをより美しくしませんか。

### #4: ベントウッドチェア

### 春らしく、新しく。

ベントウッドチェアとは、曲げ木のイスのこと。蒸気で柔らかくした木材を型枠に入れて成型します。1830年代に、ドイツのミヒャエル・トーネットが技術を開発しました。代表作は、1859年につくられた「No.14」。150年以上経ったいまも生産されている大ベストセラーです。世界中で愛されている理由は、デザイン性と使い勝手のよさ。トーネットの作品だけではなく、さまざまなデザイナーや建築家のデザインが発売され、いろいろなプロジェクトに取り入れられました。人気ぶりがわかりますね。ベンチウッドチェアは、アンティーク家具の王道ともいえます。それだけ丈夫なのです。一番の魅力は、おしゃれなこと。置くだけで、そこが特別な空間になります。玄関先やリビング、キッチンアクセントにしてもいいですね。モダンなインテリアやポップな部屋との相性もいい。魔法のように、おしゃれ感がアップしますよ。家族ひとりひとりに形の違うものをそろえて、ダイニングのイスにしても、とても素敵！



ショップマネージャー川向由加理のひとことアドバイス: 大人のインテリアを楽しみたいとき、取り入れてほしいアイテムです。デザインも色も豊富。バラバラに組み合わせても、曲げ木という共通項のために、統一感がありますね。

## INFORMATION

### 「アンティーク」新装オープン!

4月、ビースのインテリアショップ「アンティーク」が移転、リニューアルオープン。さまざまなデザインのベンチウッドチェアを取りそろえています。お気に入りを探しにいらしてください。  
●新住所/函館市柏木町1-12 株式会社ビース 本社1階



## ホビーのススメ



今回の推薦人  
高橋 正人

最近、iPhoneの望遠レンズを買いました！

### hobby 4： 写真

だから、おすすめします！  
工夫の面白み、上達の楽しみ。



10年ほど前、フィルムカメラを譲り受けたことがきっかけで写真を始めました。最初の印象は、カメラって面倒…。同じころ、友人にデジタルカメラの存在を聞いて、中古のデジタル一眼レフ（キャノン、EOS Kiss）を買ってみたら、これが素晴らしい。すっからはまりましたね。風景やネコをよく撮りました。うまく撮れるとうれしいですね。いい写真の撮り方をまねて、試したりもしました。数年前に愛機が壊れてしまい、いまはiPhoneのカメラを使っています。撮るのは子どもの写真。きれいな景色に出合ったら、ふと車を止めて撮影する、またそんなことをしたいなあと思っています。

## 暮らしとお金の専門家

# FPに 聞く

ファイナンシャル  
プランナー

FP 奥田和彦さん



### マイナス金利は住宅ローンに影響する!?

住宅ローンの金利はマイナスになりませんが、最低金利のいま、借入のチャンスです。家建てようと考えている人にとっては、いい話でしょう。すでに家を建てた人にも、無関係ではありません。低金利の時に住宅ローンを借り換えると、月々の返済額も総返済額も減ります。固定金利期間の終わりを迎える人は、検討する価値があります。ただし、デメリットもある。まず、借り換えの手数料がかかってしまう。そして、借換先の金融機関の審査がある。収入や健康状態によっては、借りられないこともあるわけ。場合によっては、借り換えにほうがお得なことも。知らない、返済額に数百万円もの違いが出ることもあるので、まずはピアスのスタッフに相談してみましょう。

### 知っておきたい数字のこと

#### ① 借り換えを考える基準

ローン残高1,000万円・期間10年以上・金利1%  
→ 借り換えがお得!  
(目安)

#### ② 借り換え手数料

ローン残高3,000万円  
→ 手数料50~80万円!!

#### ③ 金利の違い

0.1%の差=30年で約70万円。  
0.3~0.5%の差=30年で数百万円!!

## 住まいのお手入れ

### 1 食品添加物と同じ成分で 家をまるごと“洗濯”する

時間が経って、家にキズや汚れがついても、それはいい味になります。しかし、放置しておけない汚れもある。それがカビ。高い気密性、快適な室温など人間にとって心地よい環境は、カビも大好き。どんなに掃除をしても、発生してしまいます。それに対抗できるのは「リム口工法」。リム口という洗浄剤を使う、メンテナンス方法です。家を洗うだけで、健康を害する恐れのあるカビを根本から退治して、気になる塗り壁の汚れもスッキリ落とします。詳しくは、弊社スタッフにご相談ください。

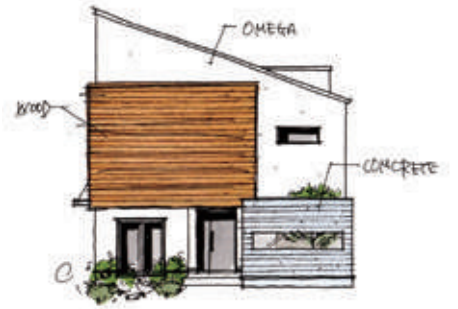
壁の塗り替えや張り替えは不要！  
洗うだけで、新築当時の美しさが  
よみがえります。



## beus news

### 函館に新幹線がやってきた！ 柏木町に新社屋ができた！

函館が北海道新幹線の開通にわいた3月26日、弊社は、完成した新社屋で業務をスタートしました。場所は、以前と変わらない柏木町です。変わったのはショールーム。建築部材やインテリアのサンプルを豊富にそろえました。また、キッズルームをつくりました。お子さま連れの打ち合わせも安心です。松陰町にあった弊社のインテリアショップ「アンティークテ」が社屋1階に移転しました(4月オープン)。これまでと同様に、暮らしに彩りと感動を添える、すてきなアンティーク家具をそろえています。ぜひお立ち寄りください。



## みさお、春の一読

### 「母性」

湊かなえ 著 (新潮社)

「娘を大切に育ててきました」「それは何故ですか?」…どう答えるのが正解なのでしょう。この作品は、ある女子高生が集合住宅の4階から転落、母親の手記と娘の回想で進む物語。母であり娘でもある私に理解はできるのに、どこか歪んでいて不気味な愛の形は、まさに湊かなえワールド全開です。

女は「母」と「娘」のどちらかでしかない。私はきちんと母親になれているだろうか、考えさせられます。娘が産まれた瞬間、愛を与えてもらう側から与える側にならざるをえなかった母親の戸惑いは悲しく、そんな母に愛を求める娘の想いは切ない。独特の怖さは否めませんが、読後、私の母が母であり、私の娘が娘であることに、幸せを感じました。女性(特に娘を持つお母さん!)に読んでほしい一冊です。(専務/森山 操)



あおしま社長の

## ことのは

代表取締役社長 青島 康夫

### 上棟式の巻 家を持つ幸せをおすそわけ

上棟式とは、家を建てるときの儀式の一つです。柱や梁(はり)などの組み立てが完成して、棟木(むなぎ、屋根の一番高い部分に用いる材木)を上げるとき、無事に家が建つように祈願します。午後3時までに準備を整え、神様を迎えて祝詞をあげます。有名なのは、散餅銭

(さんべいせん)の儀、餅まきです。なぜ行うのか、ご存じでしょうか。これは、幸せのおすそわけなんです。良いことがあれば悪いこともあるのが世の常、そのバランスを取るという知恵です。ローンだとしても家を建てる人は財を得た人なので、その富や幸福を周りの人たちに分けて、災いを避けるという意味があるのです。同じ理由で、家が完成したあとの展示会(オープンハウス)をおすすめしています。



株式会社 ビアス www.beus.jp

TEL 0120-56-0188

〒042-0942 函館市柏木町1-12

TEL 0138-56-0555 FAX 0138-56-0777

INTER DÉCO HAUS COZY

b.i.v HOMES

b-maison  
-ビー・メゾン-